

2025 年 9 月 24 日
商 工 中 金

国内外で自動車を販売する株式会社ジェイズ・コーポレーションに対し、 ポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した 総額 15 億円のシンジケートローンを組成

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（箕面船場営業所）は、株式会社ジェイズ・コーポレーション（本社：大阪府茨木市、代表者：梅本 淳一）に対し、総額 15 億円のシンジケートローンを組成しました。商工中金がアレンジャーを、関西みらい銀行がコ・アレンジャーを務め、京都中央信用金庫、大阪シティ信用金庫、山陰合同銀行、北おおさか信用金庫、百十四銀行、京都信用金庫が参加し、地域金融機関との協調により、その組成が実現したものです。なお、本融資はポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、国内外で自動車販売と各種自動車部品を販売しています。アジア諸国を中心に海外展開にも積極的に取り組んでおり、2024 年 3 月には、「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」（※）に選定されています。

（※）中小企業庁が、経済社会構造の変化に対応して事業変革や新規事業に挑戦し、地域経済や日本経済の成長への貢献が期待できるモデルとなる中小企業を表彰する制度。

今回同社は、電動車の販売台数増加、車両輸送に係る軽油使用量の削減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社ジェイズ・コーポレーションの概要】

所 在 地	大阪府茨木市彩都もえぎ 1-3-2	資 本 金	4,900 万円
代 表 者	梅本 淳一	従業員数	22 名（2025 年 6 月時点）
業 種	自動車卸売業等	設 立	1991 年 3 月

【本シンジケートローンの概要】

組 成 金 額	15 億円(コミットメントライン)	
アレンジャー兼エージェント	商工中金	3 億円
コ・アレンジャー	関西みらい銀行	4 億円
参 加 金 融 機 関	京都中央信用金庫	4 億円
	大阪シティ信用金庫	1 億円
	山陰合同銀行	1 億円
	北おおさか信用金庫	1 億円
	百十四銀行	5,000 万円
	京都信用金庫	5,000 万円
契 約 締 結 日	2025 年 9 月 22 日	

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

